



29古下発第192号

平成29年6月2日

古賀市上下水道事業経営等審議会 会長 様

古賀市長 中村 隆象



古賀市下水道事業経営のあり方について（諮問）

下水道は、公共用水域の水質保全や市民生活に欠かせない重要な社会基盤であり、将来にわたって安定的に運営される必要があります。その運営にあたっては、汚水処理にかかる事業活動のために必要な経費は利用者からの使用料等により賄う独立採算制が原則とされています。

しかしながら、施設の老朽化による改築更新費の増大、施設整備や維持管理にかかる人件費をはじめとした経費の増大など下水道事業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、現状は一般会計からの繰出金に依存しその運営を行っている状況です。

今後とも継続的かつ安定した事業運営には経営基盤の強化は不可欠であり独立採算の事業収益の確立の実現に向けた「下水道事業の事業経営のあり方」について貴審議会の御意見を賜りたく諮問いたします。